

2019(令和元)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
上野地域部会 議事概要

■開催日時 2019(令和元)年12月9日(月)

午後7時30分～午後8時30分

■開催場所 市庁舎本庁舎4階 第401会議室

■出席者 (敬称略)

【委員】

中森 伸正(小田町住民自治協議会 会長)、谷川 秀幸(友生地区住民自治協議会 会長)、山岡 輝清(猪田地区住民自治協議会 会長)、福嶋 吉久(神戸地区住民自治協議会 会長)、森川 明矩(伊賀市上野老人クラブ連合会 事務局長)、田邊 寿(社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 地域福祉部長)、伊藤 功(伊賀市民生委員児童委員連合会 副会長)、中田 洋二(上野商工会議所社会文化部会 部会長)

【事務局】

交通政策課 課長 福岡 秀明、副参事 吉岡 徹也、

主幹 坂森 荘平、主査 吉福 将徳

■傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会

福岡交通政策課長 挨拶

2. 部会長、副部会長の互選について

(互選結果・敬称略)

部会長 中森 伸正(小田町住民自治協議会 会長)

副部会長 中田 洋二(上野商工会議所社会文化部会 部会長)

3. 協議事項

(1) 行政バスへの回数券及び定期券の導入について

事務局から資料1に基づき説明

【質疑応答】

部委員	三重交通の回数券と見分けは付くのか。
事務局	色で見分けが付くようにいたします。
部委員	三重交通の回数券がほしいという意見がある。
事務局	先ほど、勘違いをしていましたが、三重交通はICカードを活

	用することで、回数券は廃止しています。ＩＣカード利用により、ポイントがたまったり、三重交通同士の乗り継ぎでは割り引きがされたりといったことで対応していると聞いています。
--	--

【承認】

(2) 伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく廃止代替バス路線の再編について

事務局から資料２に基づき説明

【質疑応答】

部委員	土日祝日運休にすると、逆に平日利用者が減っていかないか。
事務局	地域公共交通網形成計画に定める３指標を満たしていない現状があり、定時定路線での運行が厳しくなっています。今回は、実際の利用率等を確認する中で、土日祝日運休の提案に至っています。
部委員	行政バスを伸ばして、しらさぎへ接続させてはどうか。
事務局	現行の網形成計画では、各支所管内から走っている廃止代替バスや営業路線バスが上野市駅でしらさぎに接続するようにしています。
部委員	赤字だから廃止するのではなく、他の予算をまわして運行してほしい。また、それぞれの住民自治協議会で地域運行バスを自分たちで運行しなければいけないのか。兵庫県西脇市がマニフェスト大賞を受けた事例がある。議会の総務常任委員会へ働きかけてほしい。
事務局	赤字だから即廃止というのではなく、残せるものは残したいという姿勢で取り組んでいます。地域により実情も違いますので、必要があれば地域運行バスをお考えいただければと思います。マニフェスト大賞の件は、議会事務局長を通じてお伝えしたい。
部委員	伊賀上野駅から名張駅へバス路線が走っているが、皆、上野市駅で降りている。伊賀線のほうが安いから、上野市駅で止めてしまうか、市民病院へまわすほうがよい。
事務局	おっしゃっていただいた上野名張線は三重交通の営業路線で、市の経費負担はございません。朝の便は、学生利用が多く、バスを上野市駅で乗り継いで名張へ通っている学生さんもみえます。

【承認】

4. 報告事項

- ・(仮称)第2期伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について
事務局から資料3に基づき説明

【質疑応答】

部委員	支所を含めて3人が電車で通勤と聞いたが。
事務局	伊賀鉄道を使っている職員が47人います。公共交通機関の利用について、皆さんと一緒に取り組ませていただければと思います。
部委員	2020年度に地域福祉計画の見直しがあるが、医療問題における交通問題が出て来ている。多くの市民の方の関心がそこにあると思う。何らか抜本的改革をしないと、伊賀市に住めるのかどうかの曲がり角が来るのではないかと。高齢者の事故等で周囲の目が厳しく、車に乗りたくても乗れない人が増えてくる。しかし、現状ではタクシーの予約ができないときもある。他市町事例もあると思うので、ITやAIも含めて今後研究していただきたい。
事務局	タクシーやバスにおいては運転士不足があり、厳しい状況です。市としては、あるものを活用していくという姿勢で臨んでいます。新しい技術の活用については、検証して導入できるものがあれば進めていきたいと思っています。福祉と連携しながら交通施策を進めていきたいと考えています。

5. その他

【質疑応答】

部委員	公共交通の現状を、市民に伝えていったほうがよいのではないかと。例えば、三重交通の車両が走っているバス路線でも、市が経費を負担している路線があることとか。
事務局	年間を通じて利用促進の啓発を行い、特に夏季はチラシの組回覧も行ったりして公共交通の利用を働きかけていますが、公共交通の現状を知らない方がみえるという反省がございます。 今、廃止代替バスに係る説明会等で、皆さんに現状認識をいただいているところかと思えます。今後も、情報提供に努めてまいります。

(以上)